

お広報りくぜんたかた

Talkers

4

April 2019
No.1051



飛び立て未来の大空へ

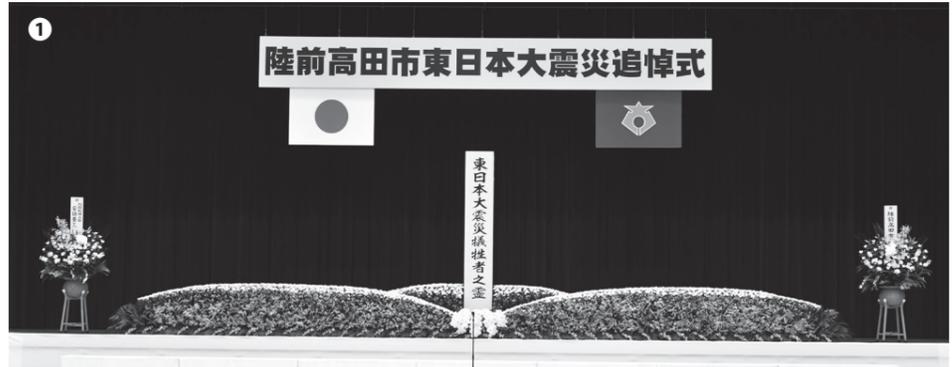
(3月16日、横田小学校卒業式)

1PPON
MATSU

平成31年度 施政方針

— 東日本大震災から8年 — 御霊の平穏を祈り 復興への誓い新たに

Front Topics



① 東日本大震災から丸8年を迎えた追悼式には家族や関係者など約千人が参列しました
② 参列者は亡き家族や知人を思い描きながら、献花台に花を供えて冥福を祈りました
③ 追悼の言葉を述べた佐々木正也さん



平成23年3月11日午後2時46分に発生し、市に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から丸8年。「陸前高田市東日本大震災追悼式」は3月11日、夢アリーナたかたで開かれ、遺族や関係者など約千人が参列し犠牲者の御霊に深い鎮魂の祈りを捧げました。

式では、地震発生時刻の午後2時46分に参列者全員で黙とう。

戸羽太市長は「国営追悼施設や道の駅高田松原の整備により、国内外に復興への強い意志を発信できるようになる。真の復興のため『心の復興』に重きを置き、夢と希望にあふれるより良い復興を目指していく」と式辞を述べました。

遺族を代表して佐々木正也さん(44)＝高田町Ⅱが「市民や市を訪れる人が、災害によって辛い思いをしない未来を願い日々活動していく」と現在の活動に触れながら追悼の言葉を述べました。

復興の総仕上げへ 市民と協働のまちづくり

平成31年市議会第1回定例会(3月定例会)は、2月27日から3月22日まで開かれ、初日に戸羽太市長が施政方針演説を述べました。「復興事業に取り組んできた結果、新しいまちの姿が見えはじめ、にぎわいも生まれてきた。復興の総仕上げとして、残された事業の1日でも早い完了を目指し、「夢と希望と愛に満ち次世代につなげる共生と交流のまち陸前高田」の実現を成し遂げられるよう全力で取り組む」と決意表明しました。ここでは、その内容の一部を抜粋して紹介します(施政方針演説の全文は市ホームページに掲載しています)。



選挙公約

①賑わいの創出と交流人口の拡大

国内外から人を呼び込み、賑わいの創出と交流人口の拡大に取り組みます。陸前高田駅周辺へのコミュニティハウスの整備などにより、子供から高齢者まで、誰もがくつろげる「居場所」を創出してまいります。

各種スポーツ大会やeスポーツなどの誘致により、さらなる交流人口の拡大と賑わいの創出を目指します。

②住民主体の地域づくりと持続可能な行財政運営

住民が主体となった地域づくりと持続可能な行財政運営を推進します。

市内11地区のコミュニティ推進協議会に対する「地域交付金制度」を創設し、市民一人ひとりがまちづくりに積極的に参画、活動できる環境を整えてまいります。

復興事業・復興予算の縮小を見据え、持続可能なまちづくりを行うための行財政改革を推進してまいります。

③利用しやすい公共交通システムの構築

「SDGs」が目指す「誰一人取り残さない」という考

④子どもから高齢者まで誰にでもやさしいまち

利用しやすい公共交通システムの構築を目指します。「交通の足の確保」のため、現在のバスや乗合タクシーなどの運行方法の改善を行い、安全・安心で利用しやすい公共交通環境の構築を図ってまいります。

高齢者や障がいのある方などの移動手段の確保のため、規制緩和や特区制度の活用を含めた新たな公共交通のあり方について検討してまいります。

⑤農林水産業と商工業を振興

え方に基つき、最後まで支援を継続してまいります。

子育て応援支援策として、子どもに係る医療費助成の所得制限を無くすとともに、助成対象を高校生などまで拡大してまいります。

高齢者が能力・知識・経験を活かして地域の支え手となる「生涯現役社会」の実現に向け、活力ある地域づくりを目指してまいります。

農業の振興についてはピーカンナツの商業栽培拠点を目指し、新たな産業の創出に努めます。

林業については、地域おこし協力隊などのアイデアを積極的に取り入れ、持続可能な地域林業の振興を図ってまいります。

水産業については、陸上養殖により安定的な漁獲高の確保に向けた取り組みを推進してまいります。

商工業の振興については、商工会と連携を図りながら、事業者に対する各種支援策を継続するとともに、新たな商品開発、販路拡大および6次産業化といった「6次ブランド化」を推進してまいります。

市内の組織改革を行い、本市振興作物などのブランド化や6次産業化を推進するため、

COVER STORY_ 今回の表紙



横田小学校卒業式は3月16日、同校で行われ、これまで支えてきた家族、先生、在校生、地域住民らに見守られ、5人の卒業生は新たなステージへの希望を胸に学びやを巣立ちました。(関連記事 23頁)

ひろくぜんたか Takata

平成31年4月号 No.1051

CONTENTS_目次

- 2 Front Topics
東日本大震災追悼式
- 3 特集・START — 平成31年度 —
施政方針、教育行政方針、市職員人事異動、予算
- 14 市役所からのHOT LINE
子ども医療費給付事業が拡大されます／防災マイスター養成講座を開講します／陸前高田民泊修学旅行
- 18 健康だより
- 19 図書館だより
- 20 市民のひろば
むしばのない子あつまれ!

- 21 生涯学習情報 はまらっせあ
- 22 地域の話
市長と語る会／「手づくり郷土賞」認定証授賞式／安倍晋三首相来市／市内小中学校卒業式／春呼び祭／みんなの夢AWARD in陸前高田2
- 24 気仙風土記(667)
- 25 慶弔・数字で見る陸前高田市
- 26 INFORMATION
- 28 今月のおすすめレシピ
タン>Hello!SINGAPORE

新たな体制を構築してまいります。

⑥働く場の創出と、移住定住を促進

チャレンジショップを開設し、出店者が店舗経営のノウハウを習得し独立開業できるよう支援してまいります。
新たな仕事を起こしていける環境を創出するため、ベンチャー企業の誘致などに取り組みまいります。
移住・定住の促進のため、空き家バンクの充実による住まいの確保など移住が定住につながる取り組みを推進してまいります。

⑦防災と減災を学ぶ先進地化

整備が進められている津波復興祈念公園や震災津波伝承館および道の駅「高田松原」の施設を中心に、東日本大震災の教訓などを末永く後世に伝承するとともに、災害への備えとしての知識の習得を図り、防災・減災を学ぶ先進地化を推進してまいります。

まちづくり総合計画に掲げるまちづくりの主要施策

①復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

▼道路整備 アップルロードと北幹線を浸水区域外のルートで結ぶ（仮称）高田・米崎間道路の整備を推進します。
▼海岸保全施設 気仙川河口水門の早期完成を目指すとともに、防潮堤などの提体や水門などの早期完成に向け事業を推進します。
▼橋梁の整備（仮称）今泉大橋、姉歯橋及び詠石橋の一日も早い開通に向けて整備促進に努めます。
▼土地の利活用促進 土地利用促進バンク制度を活用するとともに、まちづくり会社を設立して積極的なマッチングを進めます。
▼新庁舎の整備 32年度内の完成に向けて、新年度から本格的に工事着手する予定です。
▼コミュニティ施設の整備 気仙地区コミュニティセンターの建設工事に着手します。

▼移転元地の整備 農業のテーマパークや企業誘致など産業用地としての整備を促進します。
▼被災した方々への支援 住宅再建を後押しする支援事業を継続し、各種相談会の開催を通じて相談支援に努めます。
▼見守り・交流推進 災害公営住宅への入居者などに対し、見守りや地域との交流事業に取り組みます。

②快適に気持ちよく暮らすまちづくり

▼市道の整備 市道二又馬越線などの改良事業について工事の進捗を図るとともに、歩道の整備による児童の安全な避難路の確保に努めます。
▼公共交通 JR大船渡線BRT「西下駅」を新設し、陸前矢作駅及び高田高校前駅を移設します。奇跡の一本松駅を道の駅構内に移設するほか（仮称）「今泉駅」の設置に向け取り組みます。
▼水道事業 地域の給水工

促進に努め、未普及の地域には給水設備整備を支援します。
▼下水道事業 幹線道路や津波復興祈念公園、国道45号の整備に合わせて汚水・雨水管渠の整備を進めます。
▼災害公営住宅 一部について収入に係る要件を拡大し、広く良質な住宅供給に努めます。
▼高田松原運動公園の整備 31年度内の完成を目指して野球場、サッカー場などの整備を進めます。

③安全・安心で環境にやさしいまちづくり

▼地域防災力の向上 自主防災組織の組織化を進め、防災講座の充実や家庭・地域での備蓄が進むよう啓発に努めます。
▼土砂災害・洪水対策 ハザードマップを各家庭へ配布します。
▼消防屯所 被災した全消防屯所の31年度内の復旧完了を目指して整備を進めます。
▼新エネルギーの利用促進 事業者と連携して地域電力会社を設立し、エネルギーの地産地消を通じて地域経済の好循環を推進します。



（仮称）市民文化会館完成イメージ図

④子どもたちを健やかに育むまちづくり

▼子育て環境の積極的支援 市の独自施策である「子育て応援事業」を継続し、保護者の負担軽減に努めます。
▼放課後児童の居場所の創出 小友小学校区に放課後児童クラブが新設され、市内7地区8クラブ体制になります。
▼子どもの貧困対策 「子ども

⑤安全・安心で環境にやさしいまちづくり

▼地域防災力の向上 自主防災組織の組織化を進め、防災講座の充実や家庭・地域での備蓄が進むよう啓発に努めます。
▼土砂災害・洪水対策 ハザードマップを各家庭へ配布します。
▼消防屯所 被災した全消防屯所の31年度内の復旧完了を目指して整備を進めます。
▼新エネルギーの利用促進 事業者と連携して地域電力会社を設立し、エネルギーの地産地消を通じて地域経済の好循環を推進します。

も食堂」など居場所づくり事業を支援し、様々な事情を抱えた子供を支援します。

▼保育サービスの充実 保育士確保事業として子育て支援員研修を実施して保育事業者の養成を図り、子育て支援センターでの相談機能の充実に努めてまいります。

▼児童の健全育成 児童相談所や警察とのネットワーク強化を進めるとともに、要保護児童対策協議会を通じて関係機関と連携し、地域の子どもを見守る体制づくりを強化します。

▼母子保健事業の充実 妊娠や出産に係る情報の提供や妊婦健康診査の充実を図るとともに、高度な不妊治療を希望される方の負担軽減策を引き続き実施します。

⑤ともに支え、健康に暮らすまちづくり

▼ユニバーサルデザインの推進 ユニバーサルデザインに配慮した公共施設を整備し、個人店舗や事業所についてユニバーサルデザイン化を推進します。
▼共生のまちづくり 移動困



医療介護連携の拠点となる保健福祉総合センター

難者の社会参加や通院を支援するタクシー料金助成を継続して実施します。

▼地域共生社会の推進 高齢者などの地域見守り体制を強化し、高齢者の活動・交流を支援します。

▼自立した生活の構築 ふるさと納税に係る返礼品の梱包や発送を通じた就労支援により高齢者や障がいのある方々の生きがいづくりを進めます。

▼市民の健康づくり 地域のつながりの強化や生活の質の向上に努めるとともに「はまっつけらいん、かだつてけらいん運動」を推進します。

▼地域医療の充実 市保健福祉総合センターを医療介護連携の拠点として、県立高田病院や二又・広田両診療所との連携を強化します。

⑥市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり

▼友好都市との交流、都市間交流の促進 名古屋市や米ヶレセントシティ市、東京五輪ホストタウンであるシンガポール共和国をはじめ、支援をいただいている個別自治体や川崎フロンターレ、東北楽天ゴールデンイーグルスとのさまざまな交流やイベントの開催支援を行い、交流人口の拡大を図ります。
▼陸前高田市民 本市に関心と愛着を持つ「陸前高田市民」との交流や活躍の場を創出します。

⑦活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

▼農業の振興 新規就農者への営農指導を行い本格就農へつなげるとともに、人・農地プランに基づき担い手を育成します。
▼果樹の振興支援 果樹の振興を図るため、苗木の新植・改植を推進し、農業用パイプハウスの設置などを支援します。
▼林業の振興 良質な用材の

生産や地域木材利用住宅・店舗の新築・増改築に対する支援を行います。

▼森林整備 新たな森林経営管理制度の運用に合わせて、経営管理に係る意向調査などを行い、林業経営効率化と森林管理適正化の一体的な促進を図ります。

▼養殖漁業の振興 貝毒検査費用への支援などを行うとともに、広田湾産イシカゲ貝の販売促進や生産体制強化を図ります。

▼漁業の担い手確保 陸前高田市漁業就業者育成協議会の取り組みにより新規漁業就業者の確保を図ります。

▼商工業の振興 被災した商店や事業所に対する支援を継続し、さらなる地域資源の活用を図るとともに、気仙大工左官の技の承継のため職業訓練校の再建を支援します。

▼地産地消とブランド化の推進 ピーカンナッツ・プロジェクトの具現化に向け、食の普及や広報活動とともに、苗木育成に係る実証実験を推進します。
▼地域ブランド米「たかたのゆめ」栽培体系と市場評価

の確立に向け、「たかたのゆめ」を通して陸前高田ファンを創出する取り組みを推進します。



たかたのゆめ稲刈り式の様子

▼観光の振興 震災の記憶と教訓を伝える教育旅行や企業研修、民泊体験事業に取り組みとともに、外国人を含めた旅行者の受け入れ態勢強化を進め、道の駅やコミュニティハウスに観光案内所を設置します。
▼起業しやすい環境整備と魅力ある雇用の創出 起業プランコンテストの継続開催やチャレンジショップでの創業支援を進めます。

⑧市民に分かりやすく健全な行財政運営

▼市税の収納対策 31年度からゆうちょ銀行での納付を可能とし、納付環境を整備することにより、収納率を維持しつつ税収の確保に努めます。

平成31年度 市職員 人事異動

教育行政 方針

「たくましく生きていく力」の育成

① 学校教育について

市教育委員会は、「人」という視点を常に心に留め、子どもたちの「生きる力」の育成や社会教育の充実、さらには、学校施設の復旧や学習環境の整備、社会教育施設の復旧など、施策の推進に取り組んできたところであります。昨年12月には、被災した気仙小学校校舎が完成し、3学期から新校舎での学校生活がスタートしております。本年6月には高田小学校が完成予定、市立博物館も新年度には新築工事に着手できる見通しとなっており、復興に向けた取り組みは着実に進展していると考えております。

▼**現状と課題の認識** 市内の子どもたちは総じて明るく素直であり、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちに育っている一方で、「たくましく生きていく力」に若干の課題が見えてきております。新年度は「教員が子どもと向き合う時間」をこれまで以上に確保し、そのための環境を整えるとともに、「たくましく生きていく力」の育成に焦点を当て、各種施策を展開してまいります。

▼**人となつがる力** 「たくましく生きていく力」のキーワードとなるのが「人となつがる力（コミュニケーション力）」であり、義務教育9年間で少しずつ育ててまいります。▼**外国人とのコミュニケーション** 今後、拡大される小学校外国語活動や各種国際交

流事業、中学生を対象とした英語に係る新規事業などをリンクさせ、震災後に頂戴した「つながり」を陸前高田の「強み」としながら、育成を図ってまいります。

② 生涯学習・文化財について

▼**防災教育** 震災を経験したこのまちだからこそその防災教育や学校環境の整備について、子どもたちの「安全」を第一とし、今後も継続的に進めてまいります。

▼**幅広い学習機会の提供** 生涯を通じて学び続けるとともに、学びの成果を地域づくりに生かせるよう、「学びと地域活動との循環」の取り組みを進めます。

▼**家庭教育・子育て支援** 保護者が子育てに不安や悩みを抱えたまま孤立することを防ぐため、庁内はもとより関係機関、子育て支援団体などと連携・協力しながら取り組みます。

▼**学習活動への市民参画** 地域の方々による学校への学習活動の支援の取り組みを発展させ、学校・家庭・地域の連携を深め、協働の取り組みが効果的、安定的に行われる仕組みづくりを進めます。

▼**公民館活動** 各地区公民館と連携しながら各種教室の内容の充実を図るとともに、市民の自主的な学習活動を支援し、学びを通じた地域づくり



の推進に取り組みます。▼**市立図書館** 本年2月に入館者が23万人を超えました。市民の憩いの場、学びの場となるよう引き続き運営するとともに、震災関連図書やノーマライゼーション関係図書など、蔵書の充実に努めながら、遠隔地、学校及び各種施設を対象に移動図書館を運行してまいります。

▼**文化財の保存と活用** 「気づき」を目的とする市内文化財基礎調査の実施による文化財の地域研究と合わせて、旧吉田家住宅の復旧事業を推進してまいります。▼**市立博物館** 今年開館60周年を迎え、伝統と歴史のある地域に根差した総合博物館として、再建に取り組むとともに、全国の専門機関との連携をさらに強化して、被災資料の復旧に取り組みます。▼**学術情報の復元** 「陸前高田の漁撈用具」の国重要文化財指定に向けた資料整備をはじめ、学術情報の復元のための資料収集・調査研究に努めます。

部長級

派遣
(厚生労働省)



福祉部長
齋藤晴美 (52)

昇任



教委教育次長兼管理課長兼図書館長
細谷勇次 (50)



議会事務局長
熊谷重昭 (51)



復興局長兼市街地整備課長
菅野 誠 (51)

課長級

派遣
(JICA国際協力機構)



地域振興部商政課長
木全洋一郎 (47)

昇任



総務部財政課主幹兼課長補佐
菅野 優 (46)



市民協働部市民課長兼被災者支援室長
山本郁夫 (57)



総務部財政課長
黒澤裕昭 (42)



防災局防災課長兼防災対策監
中村吉雄 (46)



消防次長・消防司令兼消防署長
戸羽 進 (56)



復興局復興推進課長
佐々木学 (49)

31年度から新たな組織体制がスタート

窓口のワンストップ化

市民課に「総合窓口係」を設け、住民票、税関係の諸証明の交付、市税、給食費、水道使用料などの納付手続きを一カ所で行います。

地域コミュニティの連携強化

地区コミュニティ事業と各公民館事業の一体的活動を推進するとともに、市民の利便性の向上を目指し、新たに「まちづくり推進課」を設け、受付窓口の一本化を図り、地域活動の連携強化に努めます。

農水商工連携の推進

本市の特産品のブランド化や販路拡大を目指し、併せて、農・水・商・工業の振興を図るため、「地域振興部」を設置し、産業の推進に努めます。

2号棟2階

Table with 3 columns: 管理課, 学校教育課, まちづくり推進課. Includes staff names and titles such as 教育次長兼課長, 校長, 主任, 主事.

Table with 2 columns: 図書館, 博物館. Includes staff names and titles such as 館長, 主任, 司書, 主事.

Table with 2 columns: 小中学校用務員. Includes staff names and titles such as 高田小学校主任用務員, 竹駒小学校主任用務員.

2号棟1階

Table with 3 columns: 子ども未来課, 保健福祉課, 福祉係. Includes staff names and titles such as 課長, 課長補佐, 主任, 主事.

Table with 3 columns: 気仙保育所, 小友保育所, 高田保育所. Includes staff names and titles such as 所長, 主任保育士, 保育士.

1号棟2階

【色字＝異動者(昇任含む)・新採用】 【包括委託社員＝一般行政事務の社員を掲載】

Table with 3 columns: 総務課, 財政課, 政策推進室. Includes staff names and titles such as 理事, 総務部長兼課長, 課長, 主任, 主事.

1号棟1階

Table with 3 columns: 税務課, 会計課, 市民課. Includes staff names and titles such as 課長, 課長補佐, 主任, 主事.

Table with 4 columns: 二又診療所, 広田診療所, 学校給食センター, 保健福祉総合センター. Includes staff names and titles such as 所長, 看護師, 主任, 主事.

4号棟2階		復興推進課	農林課
市街地整備課	復興局長兼課長 菅野 誠 主幹 近藤 真司 (名古屋から派遣) 主幹兼課長補佐 高橋 宏紀 課長補佐兼区画整理係長 青山 豊英 区画整理係(今泉地区) 主任 植田 悌彦 (県から派遣) 主任 遠藤 智嗣 主任 豊山 健太 (茅ヶ崎市から派遣) 主任 高橋 開 (茅ヶ崎市から派遣) 主任技師 岡安 秋弘 (名古屋から派遣) 主事 伊藤 正(任期待) 技師 澁谷 光男 (県から派遣) 技師 松井 宏充 (名古屋から派遣)	課長 佐々木 学 課長補佐兼管理係長 吉田 幸喜 管理係 主査 山岡 憲史 (神奈川から派遣) 事業推進係 係長 石川 祐也 主査 西城 崇 (神奈川から派遣) 主事 赤穂 満 (県から派遣) 農業委員会 局長 中山 雅之(兼) 局長補佐 菅原 正弘 主査 藤原 忠善 (神奈川から派遣)	課長 中山 雅之 課長補佐兼農政係長 大和田 智広 課長補佐兼林政係長 佐野 智一 農政係 主査 三ヶ森 善智 (神奈川から派遣) 主任技師 及川 麻美 主任主事 金野 幸浩 主事 菊田 育子 (任期待) 主事 山本 摩耶 主事 澤口 裕太 (一関市から派遣) 主事 藤田 聖隆 (花巻市から派遣) 林政係 副主幹 菅野 光二 主事 小松 公輔 主事 岸 和也 主事 森 菜々子 (任期待)
区画整理係(高田地区) 係長 佐藤 賢 主査 池田 博行 (神奈川から派遣) 主査 福田 稔 (神奈川から派遣) 主査 千葉 敏史 (県から派遣) 主任 高橋 信太郎 (県から派遣) 主任技師 渡辺 博幸 (名古屋から派遣) 技師 高橋 祐一 (県から派遣) 技師 飛内 昭人 技師 岩淵 博明 【新採用(任期待)】 管理係 副主幹兼係長 泉山 力男 (県から派遣) 主査 穴戸 和夫 (神奈川から派遣) 主事 佐藤 嘉嗣(任期待) 主事 高橋 絵里(任期待)			

3号棟2階		3号棟1階	水産課
議会事務局	局長 熊谷 重昭 局長補佐 菅野 洋 主任 石川 聖恵 書記 佐藤 直樹	都市計画課 建設部長兼課長 戸羽 良一 課長補佐 山口 透 課長補佐兼計画係長 永山 悟 計画係 主任 田添 裕司 (県から派遣) 主任 佐藤 恵子 主任 鈴木 貴樹 主事 長崎 翔太 (県から派遣) 主事 志田 一朗 技師 山崎 仁巳 (県から派遣) 技師 今野 拓也 下水道係 係長 新沼 和人 主査 北原 正憲 (神奈川から派遣) 主事 菅野 大樹 主事 藤野 圭太 (一関市から派遣) 主事 出沼 与夢 (県から派遣)	課長 菅野 泰浩 課長補佐兼水産係長 石川 浩 水産係 主任 小澤 巧 主事 齋藤 真希 (県から派遣) 主事 三浦 淳 漁港係 係長 小野寺 涉 主任 佐々木 崇 (任期待) 技師 高橋 忠彦 技師 西田 信吉 (県から派遣)
		選挙管理委員会事務局 局長 村上 幸司(兼) 局長補佐 及川 晃一郎(兼) 係長 熊谷 卓	
		消防防災センター	
		消防本部 消防長 堺 伸也 消防次長・消防司令兼消防署長 戸羽 進 消防司令兼救急救助係長兼消防署副署長 及川 貴美人 消防司令補兼予防係長 岡田 雅彦 消防司令補兼通信指令係長 黄川田 英児 消防司令補兼警防係長 小松 勲 消防司令補兼管理係長 丹野 賢	予防係 消防司令補兼予防係長 熊谷 欽也 消防司令補兼主任 後藤 道治 消防士長 佐藤 浩二 消防士長 金野 剛憲 消防士長 菅野 伸 消防副士長 遠藤 翼 消防副士長 臺 和敬 消防副士長 菅野 祥之 消防士 荻原 拓也 救急救助係 消防司令補兼救急救助係長兼通信指令係長 佐々木 秀樹 消防司令補兼主任 戸羽 一将 消防司令補兼主任 伊藤 章尋 消防副士長 菅野 裕樹
		消防署 管理係 消防司令補兼係長 佐藤 浩樹 消防司令補兼主任 村上 桂一 消防副士長 芳野 亮人 消防副士長 金野 晴樹 消防士 佐藤 宏樹 消防士 新沼 心 警防係 消防司令補兼係長 長尾 英樹 消防司令補兼主任 岡淵 健悟 消防士長 村上 祐二 消防士長 権藤 雄 消防士 志田 泰晟 消防士 鈴木 宏斗 消防士 吉田 怜央【新採用】	通信指令係 消防士長 松坂 亨 消防副士長 新沼 宜徳
		防災課 防災局長兼消防防災センター所長 堺 伸也(兼) 課長兼防災対策監 中村 吉雄 課長補佐 村上 幸義 副主幹 佐々木 清敏 主事 小野寺 伸幸(任期待) 主事 山口 修平(名古屋から派遣)	

4号棟1階		建設課	水道事業所	観光交流課	商政課
課長兼幹線道路対策室長 大友 真也 課長補佐兼管理係長兼幹線道路対策室長補佐 村上 充 課長補佐兼道路河川係長 伊藤 肇 住宅推進係 係長 畠山 幸也 技師 阿部 哲志 (県から派遣) 技師 水野 竜一 主事 菅野 傑(任期待) 道路河川係 主査 齋藤 邦彦 (神奈川から派遣) 主査 山内 純 (京都市から派遣) 主任技師 小出 涼介 (名古屋から派遣) 技師 鳥居 寿人 (県から派遣) 技師 熊谷 祐輝 技師 鈴木 幸徳【新採用】	所長 熊谷 完士 所長補佐兼業務係長 大和田 昌利 業務係 主査 佐々木 武晴 主任 金野 隆博 主任 吉田 保永 主事 佐藤 広樹 工務給水係 係長 佐々木 賢也 主査 東 健二 (神奈川から派遣) 主査 小島 淑寿 (一関市から派遣) 主任 長野 貴治 主任技師 廣瀬 正憲 (名古屋から派遣) 管理係 主事 住吉 国男(任期待)	課長 村上 知幸 課長補佐兼定住交流係長 村上 聡 定住交流係 主事 高橋 純基 主事 吉田 ゆう子 【新採用】 観光係 係長 熊谷 剛 主任 水野 和人 (住田町から派遣) 主事 佐藤 純子 (京都市から派遣) 主事 北島 善太郎	地域振興部長 阿部 勝 木全 洋一郎 (JICAから派遣) 課長補佐兼ブランド推進係長 大林 孝典 ブランド推進係 主事 佐藤 秀則 (任期待) 主事 松野 美樹 (任期待) 商工係 係長 望月 孝 主査 丸岡 正則 (鹿角市から派遣) 主任 中山 雅彦 (奥州市から派遣) 主事 松坂 典子 (任期待) 主事 土井 隆太郎 (名古屋から派遣)		

【退職者】(3月31日付)		長部保育所主任調理員 村上 えち子
民生部長兼地域福祉課長 菅野 利尚	教委図書館主任自動車運転手 三浦 昭一	
農林水産部長兼農林課長 千葉 徳次	企画部商工観光課主事(任期待) 吉田 ゆう子	
復興局長兼市街地整備課長 熊谷 正文	企画部商工観光課主事(任期待) 松田 秀樹	
消防長・消防指令長 平 立身	総務部財政課主事(任期待) 金野 一彦	
会計管理者兼会計課長 岩崎 利行	民生部保健課主事兼栄養士(任期待) 及川 真由美	
消防次長・消防司令兼消防署長 村上 信幸	高田保育所保育士(任期待) 佐々木 遥	
農業委員会事務局長 伊藤 真基	建設部都市計画課主事(任期待) 田畑 晶子	
民生部保健課副主幹 佐藤 咲恵	復興局復興推進課主事(任期待) 佐久間 修	
長部保育所長 佐々木 美恵子	教委生涯学習課学芸員(任期待) 佐藤 典邦	
会計課長補佐 渡邊 雅宏	教委生涯学習課主事(任期待) 佐藤 哲郎	
農業委員会事務局長補佐 黄川田 芳昭	教委学校教育課主任兼外国語指導助手(任期待) エガー ジャスティン ロバート	
水道事業所長補佐兼工務給水係長 及川 浩	教委図書館主事(任期待) 千葉 君隆	
建設部都市計画課技師 千田 顕彦	教委図書館司書(任期待) 伊藤 晶子	

嘱託職員
 ▶ 税務課…徴収嘱託員＝新沼敦
 ▶ 保健福祉課…健康相談員＝松野京子、畠山ちえみ、健康栄養相談員＝三浦啓子、監査指導専門員＝松坂和彦、要介護認定調査員＝伊賀江美子、菅野行江、山田邦子
 ▶ 子ども未来課…児童発達支援管理責任者＝前田貴子、児童発達支援指導員＝小泉宏美、村上尚子、ひとり親支援員＝中山彩、子育て相談員＝菅原実黄子、金澤美生、鈴木菜、家庭婦人相談員＝大沢田ひろ子
 ▶ 農林課…市有林管理員＝菅野道弘、営農コーディネーター＝千葉清勝、嘱託員＝菅原剛治
 ▶ 博物館…館長＝大久保裕明
 ▶ 学校教育課…図書教育指導員＝村中聖樹、幼児ことばの教室指導員＝佐藤健一
 ▶ 観光交流課…国際交流員＝TAN ZHAO WEI

一般会計は 732億2,100万円

— 復興事業進展で18.2%減 —

平成31年度の一般・特別・企業会計の各予算が市議会第1回定例会で可決され、一般会計732億2,100万円、特別会計64億3,572万円、総額796億5,672万円を計上しました。本年度は、復旧・復興事業を最優先に進めるとともに、「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく交流人口の拡大や、子育て支援などに係る事業を推進し、さらに「陸前高田市まちづくり総合計画」に基づいた各種事業を展開する予算構成となっています。

◆問い合わせ先…市役所財政課財政係(内線162)

※文中表内単位金額以下を端数調整

【陸前高田市まちづくり総合計画】 ～基本目標ごとの主な重点事業～

基本目標	主な重点事業
① 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり	高田地区土地区画整理事業＝141億4,207万円 今泉地区土地区画整理事業＝105億41万円 ほか
② 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	都市公園整備事業＝4億2,981万円 市道改良舗装事業＝2億3,275万円 ほか
③ 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	可燃物運搬中継施設管理事業＝1億1,896万円 消防団運営費＝6,658万円 ほか
④ 子どもたちを健やかに育むまちづくり	法人立保育園児童保育実施事業＝4億4,528万円 児童生徒遠距離通学事業＝1億4,406万円 ほか
⑤ ともに支え、健康に暮らすまちづくり	ふるさと納税活用事業＝7億1,929万円 障がい者自立支援給付事業＝5億5,651万円 ほか
⑥ 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり	コミュニティ推進事業＝6,172万円 人口定住増加対策推進事業＝3,731万円 ほか
⑦ 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	水産業共同利用施設復興整備事業＝2億7,384万円 交流人口拡大事業＝5,792万円 ほか
⑧ 市民にわかりやすく健全な行財政運営	長期債償還元金＝12億6,074万円 広聴広報事業＝994万円 ほか

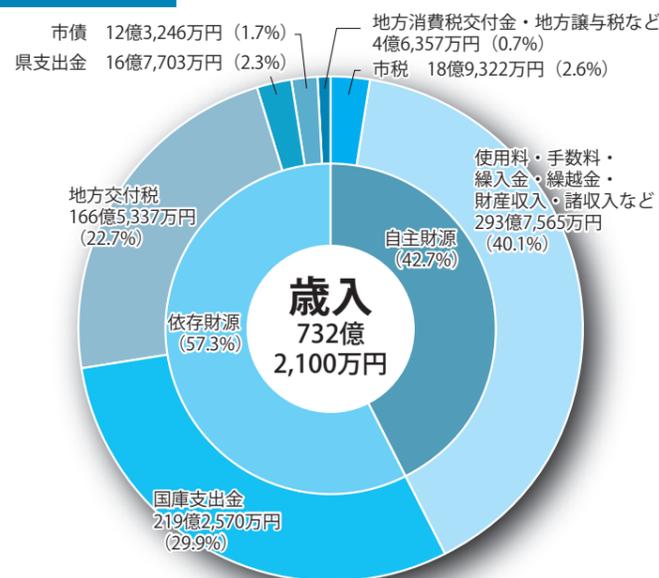
【平成31年度 主な新規予算項目】

新規予算項目	内容	予算額
コミュニティ活動推進補助	市内各コミュニティに対する500万円の活動推進補助	5,500万円
高校生等医療費給付	高校生医療費の無償化に係る給付事業	5,810万円
五の市再開調査業務委託	五の市の再開に向けた参加者への調査等業務	200万円
下矢作小学校線道路改良工事	市道下矢作小学校線の拡幅および舗装工事	5,724万円
市道小友線歩道整備工事	小友小学校から小友コミセンまでの歩道整備工事	850万円
竹駒小学校トイレ等改修工事	竹駒小学校トイレの洋式化改修工事	440万円
小友小学校トイレ等改修工事	小友小学校トイレの洋式化改修工事	550万円
高田第一中学校テニスコート等整備工事	仮設住宅撤去後の高田第一中学校グラウンドへのテニスコート工事	4,610万円
高田第一中学校屋外部室建替工事	老朽化した高田第一中学校屋外部室の建て替え工事	503万円

平成31年度各会計の予算額

会計名	予算額(前年度当初比)
一般会計	732億2,100万円(−18.2%)
■特別会計	
下水道事業	6億6,504万円(−21.5%)
農業集落排水事業	6,493万円(+3.7%)
漁業集落排水事業	8,849万円(−20.3%)
国民健康保険	事業勘定 24億6,596万円(+0.4%) 診療施設勘定 1億7,935万円(+5.3%)
後期高齢者医療	2億3,031万円(+2.3%)
介護保険	保険事業勘定 27億3,127万円(+5.8%) 介護サービス事業勘定 1,037万円(+36.6%)
■企業会計	
水道事業	収益的収入 6億3,108万円 収益的支出 6億2,446万円 資本的収入 10億6,203万円 資本的支出 11億6,258万円

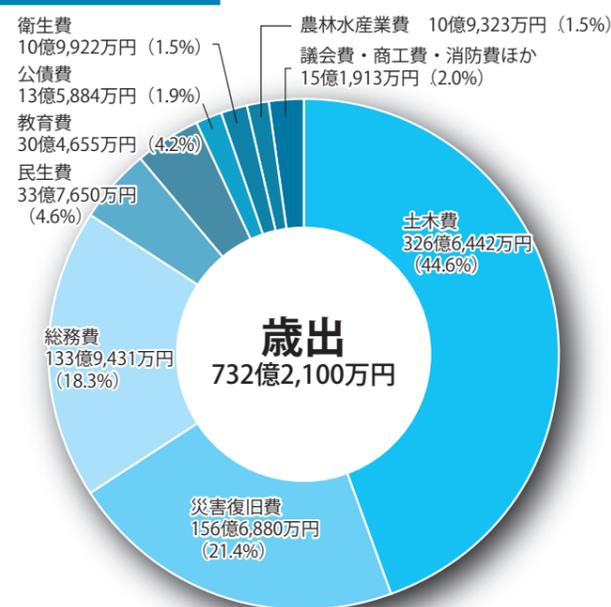
円グラフ1 歳入内訳



歳入

歳入の内訳は左の円グラフ1のとおりです。自主財源は312億6887万円(構成比42.7%)。前年度比で61億2310万円の減となりました。これに対し、依存財源は419億5213万円(構成比57.3%)と前年度比で102億290万円の減少、地方交付税が約8億円増加しています。

円グラフ2 歳出内訳(目的別)



歳出

歳出の内訳を目的別に見たのが左の円グラフ2です。土木費が最も多く、全体の44.6%。次いで、災害復旧費が21.4%となっており、復興を進めるインフラ整備に関する予算が大半を占めています。

市の借金にあたる市債は、前年度比5億3819万円減の12億3246万円。31年度末の残高は前年度比2828万円減の123億5127万円となり、住民一人当たりの残高は64万円となっています。

市民1人当たりに使われるお金(一般会計)

382万160円

土木費	170万4,201円	災害復旧費	81万7,489円	総務費	69万8,822円
民生費	17万6,162円	教育費	15万8,948円	公債費	7万895円
衛生費	5万7,350円	農林水産業費	5万7,036円	その他	7万9,257円

市民1人当たりの平均市税収入

8万8,584円

※2月28日現在の人口(1万9,167人)で計算

財政用語解説

- ▼特別会計 特定の収入で特定の事業を行うために、一般会計とは区別して設けられる会計
- ▼企業会計 地方公営企業法の適用を受け、水道事業のように、事業収入で経営を行うために設けられる会計
- ▼自主財源 市税や各使用料など、市が自ら収入する財源
- ▼市債 皆さんから納めていただく市民税や固定資産税、軽自動車税など
- ▼繰入金 基金の取り崩しや、ある会計から別の会計に繰り入れるお金
- ▼依存財源 国や県からの交付金や借入金など
- ▼地方交付税 市の財政状況に応じて国から交付されるもの
- ▼市債 事業を行うために市が資金調達するお金(市の借金)
- ▼災害復旧費 災害で被災した施設などの機能を回復するために使うお金
- ▼公債費 市債を返済するために支払うお金

防災マイスター養成講座を開講します

◆問い合わせ先…防災局防災課(内線602)

地域を守るリーダーに！ 31年度防災マイスター養成講座 開講

昨年度に引き続き、地域の防災リーダーとして活躍できる人材を養成するため、防災の専門家や市職員などによる講座を開講します。

- ◆対象者…市内在住、在勤または在学の中学生以上の人
- ◆募集人数…50人(先着順)
- ◆受講料…無料
- ◆日時…5月から12月までの毎月第4日曜日、午後1時半～午後4時半
- ◆場所…コミュニティホール
- ◆申し込み方法…市ホームページや市防災課などで配布する「受講申込書」に、必要事項を記入し、①郵送、②FAX、③電子メールにより申し込み
- ◆申し込み期限…5月22日(休)



【講座カリキュラム】

講座名	内容	講師	開講日
(開講式)	あいさつ、オリエンテーション		第1回 5月26日
①基調講演	地域防災の重要性を考え、防災リーダーの役割について学ぶ	岩手大学 福留邦洋 教授	第2回 6月23日
②気象に関する基礎知識	気象情報を正しく理解するための知識を学ぶ	盛岡地方気象台職員	
③避難情報	避難情報の内容を正しく理解し、適切な避難行動について学ぶ	市防災課職員	第3回 7月28日
④災害時の行動心理	災害時に正確な情報を入手し、適切な避難行動が取れる心理を学ぶ	東京大学 関谷直也 准教授	
⑤クロスロード	災害発生時には多様な考えや意見を持つ人が現れるが、その時どう判断するか、ゲームを通して考える	市防災課職員 市防災マイスター	第4回 8月25日
⑥防災施設見学	海岸保全施設である、防潮堤や水門などを見学する	大船渡土木センター 河川港湾課職員	
⑦災害時における適切な栄養補給	災害時に、効率よく栄養確保ができる食事内容を学ぶ	株式会社キャセロール 代表 安中千絵 氏	第5回 9月22日
⑧家庭内での安全と備蓄	家庭内での身の守り方や備蓄方法等について学ぶ	市防災マイスター	
⑨避難所運営ゲーム (HUG)	ゲームを通して、避難所運営方法について学ぶ	岩手大学 井良沢道也 教授 市防災マイスター	第6回 10月27日
⑩救命講習	AEDの使用方法や止血法等、緊急時の応急処置について学ぶ	市消防署職員	第7回 11月24日
⑪自主防災組織の活動事例	自主防災活動を積極的に取り組んでいる地域の活動事例について学ぶ	一関市中里市民センター 前所長 佐藤志行 氏	第8回 12月22日
⑫確認テスト	各講座のポイントの再確認を目的としたテストを行う	市防災課職員	
(閉講式)	マイスター認定書の授与など		

※昨年度の養成講座を受講し、防災マイスターに認定された人により、防災講座や防災訓練の支援などを行っています。地域や職場などにおいて、防災講座などの実施を希望される場合は、上記問い合わせ先までご連絡ください。

子ども医療費給付事業が拡大されます

平成31年4月診療分から、子どもの医療費給付事業の対象を高校3年生まで拡大し、受給者を認定する際の所得要件を無くします。

この事業の給付を受けるためには申請が必要となります。

5月下旬、新たに対象となる人の保護者に対し案内文書と申請書を郵送しますので、申請書を市民課へ提出してください。(平成31年3月まで「子ども医療費給付事業」の対象であった人は、新たに手続きをする必要はありません。)

申請があった対象者には、7月下旬に受給者証を郵送します。

【対象者】

	改正前	改正後
診療月	平成31年3月31日診療分まで	平成31年4月1日診療分から
対象年齢	出生から中学3年生まで (15歳に達する日以後の最初の3月31日まで)	出生から高校3年生まで (18歳に達する日以後の最初の3月31日まで)
所得要件	受給対象者の所得要件あり	受給対象者の所得要件なし

※現在、妊産婦、重度心身障害者、ひとり親の医療費給付事業の給付を受けている人は、対象外です。

【申請に必要なもの】

- ・被保険者証(本人のもの)
- ・通帳(本人または保護者名義のもの)
- ・印鑑



【給付申請方法】

○現在子ども医療費給付事業の受給者の人
申請方法に変更はありません。

○新たに受給者となる人、平成31年3月まで受給者だった人
受給者証の交付は7月末を予定しています。

医療費の給付手続きは、受給者証の交付後に行いますので、平成31年4月以降に受診した医療機関の領収書は大切に保管しておいてください。

4月から7月診療分まで	8月診療分から
医療費助成給付申請書(灰色)と領収書を持参して、保健福祉課国保介護係で申請してください。 申請は、受給者証交付後から受け付けます。	県内の病院等を受診した場合は、その窓口に医療費助成申請書(灰色)を提出してください。 県外の病院等を受診した場合は、医療費助成給付申請書(灰色)と領収書を持参して、保健福祉課国保介護係で申請してください。



- ◆問い合わせ先…受給者証の申請 市民協働部市民課登録係
医療費の給付 福祉部保健福祉課国保介護係

来てくれる生徒にとっても、陸前高田に住むわたしたちにとっても
陸前高田での出会い・経験がこれからの力になる



あなたもまちづくりプレイヤーの1人に
～民泊を受入れることで地域活性化に貢献～

民泊の際に、買い物で生徒と一緒にスーパーを利用したり、施設を訪れることによって市内に良い循環が生まれています。

これまで受入家庭には、修学旅行の際に、市内店舗で使えるクーポン券「ニコニコみんぽく」を配布。期間限定で料金の値引きやサービスなどが受けられるもので、市内の飲食店をはじめ10店舗以上の事業所で使用できます。

杉の家はこねでは、気仙杉を使った木工体験や気仙大工左官伝承館の滑り台も人気です。広いお風呂に入ってみたいという生徒も多く、黒崎仙峡温泉や玉乃湯足を運ぶ家庭も。

民泊を通じて市内の店舗や施設を利用することで、「今」と「未来」の陸前高田の手助けに繋がっていきます。

【2019年度修学旅行決定校一覧】

学校名	はまって会	ほんでまんず会	泊数	人数
横須賀市立浦賀中学校	5月14日(火)	5月16日(木)	2	310
筑波大学附属駒場中学校	5月23日(木)	5月24日(金)	1	123
横須賀市立岩戸中学校	5月28日(火)	5月30日(木)	2	70
船橋市立三山中学校	5月30日(木)	5月31日(金)	1	78
郁文館高校	6月4日(火)	6月6日(木)	2	35
草津市立玉川中学校	6月6日(木)	6月8日(土)	2	176
神奈川県立瀬谷高等学校	10月1日(火)	10月2日(水)	1	320
神奈川県立新栄高校	10月8日(火)	10月10日(木)	2	360
大阪府立桜塚高等学校	10月15日(火)	10月16日(水)	1	360
大阪府立枚方津田高等学校	10月16日(水)	10月18日(金)	2	320
大阪府立懐風館高等学校	10月22日(火)	10月24日(木)	2	240
都立山崎高等学校	11月6日(水)	11月8日(金)	2	230



○お茶をしながら民泊のあれこれ、お話しませんか？

すでに登録している家庭も、民泊について全く知らない人でも、市内の人であればどなたでも参加可能です。買い物ついでにちょっと立ち寄ってお茶を飲みながら楽しい時間を過ごしませんか。うれしい企画も準備中です。どなたでも大歓迎です。お待ちしております。

- ◆日時…毎月第3週の木曜日(1回目は4月18日(木))、午後2時～4時(出入り自由)
- ◆内容…お茶っこ、体験教室(料理や木工体験など)、他レクリエーションを予定
※体験学習を実施する場合は事前に告知します。
- ◆場所…ほんまるの家
- ◆問い合わせ先…マルゴト陸前高田 ☎0192(22)7410または市役所観光交流課

陸前高田民泊修学旅行

～民泊修学旅行の受け入れが4年目を迎えます～

全国で広がりを見せる「民泊」。一般社団法人「マルゴト陸前高田」とNPO法人「SET」が市と共同で受け入れを行っている民泊修学旅行。4年目の今年、本年度は5月から11月までの間に、12校、約2,622人の中学校や高校が陸前高田市を訪れることが決まりました。

陸前高田“民泊”修学旅行で大切にしていること

ひとりひとりが主人公になれるオリジナル民泊

「生徒たちは観光ではなく交流を目的に陸前高田を訪れる」民泊に訪れた生徒たちは陸前高田の“人”に会いに来ています。対面式(はまって会)後、各受入れ家庭に向かい、生徒たちはそれぞれの家庭で貴重な体験・経験をして、たくさんの思い出を作ります。

一緒にカレーを作る家庭、魚を丸々1匹捌かせてみる家庭、ちらし寿司の盛り付けを楽しむ家庭など、受入れ先での体験はさまざま。同じ経験はひとつもなく、生徒にとってはすべての経験が陸前高田での“オリジナル”の体験となります。



民泊修学旅行の意図

陸前高田に来てくれる生徒たちに向けてー

- これからのいつかまた来るかもしれない震災への学びを(防災・減災)
- 田舎の生活体験をし、ふだんの生活とは違った経験をする事で新しい気持ち・発見を
- 陸前高田での経験が人生のふとした瞬間の手助けに

陸前高田に住んでいるわたしたちー

- 生徒と一緒に過ごすことで新しい発見・視点が生まれる
- 新しいことにチャレンジして、新しい交流が生まれる
- 交流人口が増えることで、市内の各所に人の循環が生まれる
- 再び足を運んでくれる人、陸前高田という名前を知ってくれる人が増える
- 人と人が繋がるきっかけになる

地域にとってー

陸前高田を修学旅行先に選んだ先生たちの思いー

- これからの震災に備えて、経験した人たちの話を聞けるといふことはなにより経験。実際に震災が起こったとき、生徒たちがどう行動すればいいかどうしたらいいかを修学旅行の中で考えてほしい
- 両親が共働きであったり片親であったりと、さまざまな家庭の事情から家族でご飯を食べるといふ機会が少ない生徒も多く、家族団らんの場合に混せてほしい



修学旅行がきっかけで4月から移住する生徒

Library

図書館情報

☎0192(54)3227

4月のイベント予定

4月23日(火)～5月12日(日)は「こどもの読書週間」です。図書館で、ご家庭で、「本を読むこと」を楽しみませんか？

1 本の特集展示

- 一般向け：①「さよなら平成 第2弾! 話題になった本・ベストセラーの本」
②「出かけよう! 極めよう!」
※様々な過ごし方を提案する本の展示です
児童向け：①「この本・読んだ? へいせいのじだいにみんなが読んだ本」
②「いろいろな☆かがく☆の本」

《連休中の図書館の開館日と休館日のお知らせ》

4月27日(土)～5月6日(月)の連休期間中は、午前10時から午後5時まで開館します。5月7日(火)は振替休館日8日(水)は臨時休館日となります。

2 おはなし会

- ◆日時(対象)
① 4月13日(土)、午後2時～2時半(幼児・小学生向け)
② 4月19日(金)、午前11時～11時半(乳幼児向け)
◆場所…児童コーナー「おはなしの部屋」
◎子どもの読書週間関連イベント「わくわくおはなし会」
◆日時…5月12日(日)、午後2～3時
◆場所…アバッセタカタパブリックスペース
わくわく! 楽しい! がいっぱいの特におはなし会です。どなたでも参加できます。

5月・6月の移動図書館

※誰でも利用できます。都合の良い駐車場所をご利用ください。



Table with 4 columns: 巡回日, 地区名, 時間, 駐車場所. Lists routes A through E with dates and locations.

Table with 4 columns: 巡回日, 地区名, 時間, 駐車場所. Lists routes F through I with dates and locations.

※4月の巡回はお休みです。
※5月29日(水)は「資料整理日」のため休館していますが、移動図書館は巡回します。
※コースを追加しました。昨年度と巡回場所・巡回日時が変更になっている駐車場所がありますので、確認してください。

地域包括 支援センター発!

介護お茶のみ話

その53



お口の健康と全身疾患

人は口から食糧を摂ることで、生命を維持しています。歯や口腔機能を保つことで健康長寿に役立つことが明らかになっています。

◆歯周病菌や虫歯菌

歯垢の中には、大腸(糞便)と同量の細菌を含みます。誤嚥して肺に歯垢を吸い込むと肺炎の確率が高くなります。また細菌が血液中に入ると敗血症、血液の中の細菌が心臓の中に付着すると心内膜炎、付着した細菌の周囲には血栓ができやすく、その血栓により脳梗塞や心筋梗塞を引き起こします。



◆慢性炎症に伴う影響

虫歯や歯周病に伴う炎症物質により、歯の周囲の骨も弱くなり歯が抜けやすく、栄養摂取量が低下すると骨粗鬆症を悪化させます。またインシュリンの効果を低下させたり血管内で動脈硬化を引き起こします。

◆認知症への影響

毎食後に歯磨きをする人に比べ、1日1回以下の人が認知症になる確率は、1・5倍になると言われています。

◆妊婦への影響

細菌や炎症物質が子宮に達することがあり、早産や低体重児出産のリスクが健常者の4・3倍あると言われています。

◆健口長寿でいるために

- ・虫歯や歯周病は治療する。
・よく噛んで食べる。
・唾液腺をマッサージする。
・こまめに水分補給する。
・歯磨きや洗口、うがいの回数を増やし舌も磨く。
・義歯は清潔に保つ。
・発声や咳ばらい、首や唇、舌や頬の運動をする。

◆申し込み・問い合わせ先

地域包括支援センター(保健福祉総合センター)内 ☎0192(22)8671

446

だより 保健



がん検診を受けましょう

◆死因第一位は「がん」

がんは、日本人の死因第1位で「2人に1人が生涯において一度はがんにかかる」とも言われています。陸前高田市においても死因ではがんが最も多い状況です。男女別で見ると、男性では、肺がん、胃がん、大腸がんの順で亡くなる人が多く、女性では大腸がん、肺がん、すい臓がんの順となっています。

◆早期発見・早期治療が重要

「がん」の原因として、喫煙、飲酒、肥満、ウイルス感染などが明らかになっています。しかし、日本人の男性の約5割、女性の約7割については、原因が明らかになっていません。そのため、定期的ながん検診を受診し早期に発見することが大切です。早期に発見、治療をすることで治る確率は飛躍的に上がり、大切な命を守ることが出来ます。

◆がん検診の申し込み

- 市では、4月中旬に各世帯へ「各種検診申込書」を送付いたします。対象者全員分の申し込みについて、所定の欄にご記入のうえ、保健福祉課まで返信してください。ぜひ、この機会に家族皆でお申し込みください!

◆問い合わせ先

市役所保健福祉課

来ます。自分のため、家族のためにがん検診を受けましょう!
◆市で行っているがん検診
市では、次のがん検診を実施しています。

◆40歳以上対象の検診

- ① 胃がん検診：(毎年)胃部X線撮影
② 肺がん検診：(毎年)胸部X線撮影
③ 大腸がん検診：(毎年)便潜血検査

◆女性のみ対象の検診

- ① 乳がん検診：(40歳以上・2年に1回)乳房X線撮影
② 子宮頸がん検診：(20歳以上・2年に1回)子宮頸部細胞診

生涯学習情報

はまらっせあ



託児ボランティアを募集します

市では、子育て中の方の社会参加を支援する託児ボランティアを募集しています。子どもが好きな方であれば、資格や性別に関わらずお申し込みいただけます。ボランティア登録をしていただいた方には、託児が必要なときに担当課からご協力のお願いの連絡をいたします。ご協力は、ご都合の良い日程のみで構いません。多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

◆内容…乳幼児学級や家庭教育講座などに保護者が参加している間、就学前の子どもに危険が生じないように別室でお世話をさせていただきます。なお、初めての人でも不安なく託児ができるように、ボランティア講習会なども行う予定です。

①乳幼児学級（0歳～3歳位までのお子さんを育てている保護者が学ぶ学級）

依頼回数：年に5回程度

依頼時間：平日の午前中2時間程度（主に第1または第2金曜日）

②家庭教育講座など

※時期や時間は未定。託児時間は1時間半程度

◆締切…平成31年4月26日(金)まで

◆申し込み・問い合わせ先…市役所まちづくり推進課コミュニティ係



託児ボランティアの様子

文化財ニュース

指定文化財紹介③ じゃがさき ～蛇ヶ崎～

「はまらっせあ」2月1日号でも紹介した小友町にある「国指定天然記念物 蛇ヶ崎」は箱根山から南東に伸びる尾根が海まで突き出た半島で、白亜紀の硬質砂岩や頁岩を波が削り、「魔の瀬の大洞窟」などの洞窟や潮吹穴、「亀島水道」と呼ばれる狭い水道が形成されています。また中世には、「蛇ヶ崎城」として半島全体が城館として使用されていた時期もあり、遺跡としても登録されています。

市教育委員会では、今後も未来に伝えたい文化財の保護を進めていきますので、皆さまのご支援ご協力をよろしくお願ひします。



国指定天然記念物 蛇ヶ崎



さとうりの 佐藤彩愛 ちゃん (小友町)



しまだらいと 嶋田煌月 くん (高田町)



かとうひろと 加藤大翔 くん (広田町)



くまがい すい 熊谷 粹 ちゃん (小友町)



やまだ しおり 山田 菜 ちゃん (小友町)



なかだほなみ 中田帆南 ちゃん (米崎町)



まつだれいか 松田滯佳 ちゃん (高田町)



こいずみえれん 小泉笑蓮 ちゃん (米崎町)



くまがい ゆり 熊谷優里 ちゃん (高田町)



ごとうかんた 後藤歓多 くん (横田町)



ささきたつし 佐々木達志 くん (米崎町)



うすいひゅうま 白井彪真 くん (広田町)



むらかみかせい 村上快成 くん (広田町)



かんのえいと 菅野瑛心 くん (気仙町)



むしばのない子あつまれ!

(2月25日・3歳6カ月児健診で虫歯のなかった子)



親、先生、在校生への感謝の気持ちを込め合唱をする卒業生

市内小中学校卒業式

303人が迎える巣立ちの春

市内小中学校の卒業式は3月13、16、19、20日にそれぞれ行われました。

広田小学校(鈴木敏彦校長、生徒120人)では3月19日、卒業式が行われ、保護者や先生、在校生らに見守られ卒業証書を受け取った卒業生21人は、広田小での6年分の感謝と、新たなステージへの希望を胸に学びやを巣立ちました。

今年市内小中学校の卒業生は小学校が8校130人、中学生が2校173人でした。

市長と語る会

行政との相互理解を深める

市内の福祉施設を利用する障がい者と戸羽太市長による語る会は2月28日、高田町の保健福祉総合センターで開かれ、障がい者やそのサポートをする職員約20人が参加し、市長へ要望などを伝えました。

参加者からは、「障がい者というだけで賃金が安く、一般就労に向けての研修期間の賃金や交通費などがかさんでしまう」との声が上がりました。

戸羽市長は「既存の制度の中で解決可能。皆さんの就職に対し背中を押していきたい」と答えました。



行政への要望などについて戸羽市長と語り合う参加者

春呼び祭

多彩な催しで広がる交流の輪

春呼び祭(同実行委員会主催)は3月16・17日の2日間にわたり、米崎町のグローバルキャンパスで行われました。

この催しは、市民と県内外の大学生らの交流を深めることなどを目的として開催され、ミニコンサートや立教大学落語研究会による寄席のほか、岩手大学と大船渡高生がシナリオを作った「模擬裁判」など、多彩なプログラムで訪れた来場者を楽しませていました。



模擬裁判では、来場者も裁判員や傍聴人の役割を担いました



高田局長から鈴木理事長へ認定書が手渡されました

「手づくり郷土賞」認定証授与式

松原再生への思い新たに

国土交通省の「手づくり郷土賞」認定証授与式は3月7日、市役所で行われ、東北地方整備局の高田昌行局長からNPO法人高田松原を守る会(鈴木善久理事長)に認定証が手渡されました。

受賞は、松の植樹など高田松原の再生の活動が評価されたもので、鈴木理事長は「活動が認められてうれしく思う。再生には長い年月がかかるが、若い世代にも加わってもらい活動を継続していきたい」と決意を語りました。

安倍晋三首相来市

住民との交流と復興状況把握

安倍晋三首相は3月9日、釜石市の三陸沿岸道路開通式後に高田町の「りくカフェ」を訪れ、復興状況の把握と地域住民との交流を行いました。

この日は、首相のほか渡辺博道復興大臣や達増拓也知事らも訪れ、同カフェの事業の話を聞き、人気のヨガ体操を市民とともに体験しました。

安倍首相は「被災地の声に耳を傾け、皆さんの声を復興につなげる」と復興への思いを述べました。

安倍首相の気仙入りは、27年12月以来4回目となります。



当市の復興状況を視察し、地域住民との交流を行いました



発表者の夢に「いいね」を掲げ応援する来場者

みんなの夢AWARD in陸前高田2

起業の夢実現へ向けプレゼン

市のビジネスプランコンテスト「みんなの夢AWARD in陸前高田2」は3月17日、コミュニティホールで開かれ、新たな産業と雇用の創出に向けた起業の夢を市内外の5人が熱く語りました。

発表内容は、地元の農林水産物や酒などを生かした商品販売、電力資源を活用した事業展開などさまざま。グランプリには、渋柿を使った柿酢づくりを通し、高齢者の雇用と産業振興について語った大和田加代子さんが輝きました。

慶弔(2月16日～3月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載

◇おめでた()は保護者・字名

◎男の子

横田	泉田 悠有 (一樹・堂の沢)
米崎	高橋 慶伍 (直也・西の沢)
	塚田 拳士 (昌直・野沢)
広田	村上 大護 (竜太・小屋敷)

◎女の子

高田	伊藤 結愛 (翔太・鳴石)
米崎	佐藤 樹里 (太樹・松峰)
広田	村上 凧 (征一郎・久保)

◇お幸せに()は字名

高田	北島善太郎・菅野郁恵 (下和野)
----	------------------

◇おくやみ()は年齢・字名

矢作	菊池 静江 (94歳・雪沢)
	鈴木 頼子 (92歳・大嶋部)
	菅原 キミ子 (95歳・打越)
	吉田 キミ (103歳・中島)

横田	佐藤 一男 (83歳・槻沢)
	伊藤 隆男 (89歳・袋沢)
	菅野 三男 (90歳・釘の子)
竹駒	千田 昭光 (80歳・相川)
	藤巻 範人 (70歳・館)
	村上 光子 (81歳・相川)
気仙	鶴田 好美子 (83歳・月山)
	戸刺 テル子 (97歳・月山)
高田	佐藤 オキセ (99歳・鳴石)
	菅野 清市 (92歳・下和野)
	千田 静枝 (74歳・西和野)
米崎	長野 け系子 (68歳・松峰)
	菅野 梯子 (86歳・川西)
	嶋村 ヨシノ (91歳・高畑)
小友	柴田 アサ子 (101歳・菖蒲)
	村上 圭子 (86歳・谷地館)
広田	金野 晴雄 (88歳・小長洞)
	伊藤 トシ子 (95歳・集)
	白井 慶子 (77歳・大久保)
	熊谷 勝子 (89歳・泊)

数字で見る陸前高田市(平成31年2月28日現在)

市内の火災救急活動(2月)

()は1月からの累計

◆建物	0件 (0件)
◆林野など	0件 (0件)
◆出動件数	72件 (161件)
◆搬送人員	73人 (157人)

市の人口(住民登録人口)

()は前月比 出生・死亡数は2月分

男性	9,295人 (-2人)
女性	9,872人 (-21人)
計	19,167人 (-23人)
	(出生 5 死亡 23)
世帯数	7,607世帯 (-1世帯)

市内の交通事故(2月)

()は1月からの累計

◆人身事故	3件 (5件)
◆物損事故	24件 (65件)
◆負傷者	4人 (6人)
◆死亡者	0人 (0人)
◆飲酒運転	0人 (0人)



(667)

斎藤 金野 静一・文責
藤多美子・挿絵

民譚

「カバネヤミ(怠者)の話」(13)

昔、ある所に、カバネヤミ(怠者)の若者がいた。毎日、それこそ何もしないでブラブラして暮らしていた。この若者に、村のヤモメが目をつけた。そのヤモメが、何となしに若者を間近に寄せて、さまざまな用を言いつけて利用したのだった。

「道を歩くときは、何でもよいから、目についた物を拾って持ってくるものだ」と、悪知恵を授けたのだ。言いつけられた若者は、往來を歩いている途中、布切れや木屑などを拾ってきて、ヤモメの宅に持ち込み、生計の手助けをしていた。

こんな生活をしてきたある夜のこと。若者がなんと若い女の屍体を拾って来たのである。

これを知ってヤモメは手をたたいて喜んだ。これはよいものを拾って来たものだと、死人の髪をとかしてやったり、白粉(おしろい)、紅(べに)をつけて化粧させ、こざつぱりに身支度をさせたらうえ、その死体を若者にかつがせ、自分も樽を持って共に酒屋へ行

つた。そして静かにいいアンパイに死人を戸にもたせかけて置いて、「もし、申し…酒こくれであ」と、言い捨ててや



モメと若者は大急ぎで家に逃げ帰った。

一方、酒屋の番頭は、表の方にお客が来たと思って戸を開けると、その拍子に樽を持った若い女が倒れてきた。番頭はたまげてしまった。

「あれあ、大変だ！これあ大変なことをした」と言つて腰を抜かした。そこへ、先刻の二人がまたやって来て言うには、「あれあ、大変だ。ここでは、おら家の嫁を殺したであ。そして、俺つ家の大事な嫁を殺してしまつて、

どうするつもりだ！」と、二人で大声で難題を吹っつけたのである。酒屋でも懸命に弁解したが、なんとと言っても、自分の家の前に嫁と思われる女が倒れているばかりか、息も絶えて死んでいるので、酒屋の方は弁解の言葉もなく、ついには詰まつてしまい、何も言えなくなつた。

かくてこの店では、多額のお金を出して、ヤモメとカバネヤミの二人に、目の玉の飛び出るような多額の金子を出して謝つたという。ヤモメと若者は、そのお金で喜び勇み、飲みつつ喰らつたとの事であるが、二人も晩年は決して良いとは言えぬ生涯であつたという。

開催します

歯や口の中の健康に
ヨイ歯デーテレホン相談

岩手県保険医協会歯科部会では、歯や口の中に関する悩みの解消の手伝いをする「ヨイ歯デーテレホン相談」を実施します。相談料は無料です。
◆日時：4月18日(木)、午前10時～午後7時
※相談を一旦受け付けた後、折り返し協会歯科部会より相談者に連絡します。
◆相談・問い合わせ先：岩手県保険医協会歯科部会 ☎019(651)7341

募集します

地域住民による市有地の管理
防災集団移転用地管理
事業費補助金
市が実施する「防災集団移転用地管理事業費補助金」事業の交付団体を募集します。
◆対象団体：津波で被災した

地域を活動範囲とする自治会(構成人数10人以上)
◆補助対象：防災集団移転促進事業により市が買い取った被災宅地の草刈り及び清掃等の維持管理作業(年3回)
◆補助額：1㎡1回あたり11円
◆申請期限：4月26日(金)
◆問い合わせ先：市役所復興推進課管理係
再就職をサポートします
ポリテクセンター岩手
遠野実習場6月入所生
ポリテクセンター岩手・遠野実習場では、6月入所の訓練受講者を募集しています。
◆募集料：住宅建築施工科
◆定員：10人
◆受講資格：ハローワークに求職手続きをしている人
◆募集期間：4月1日(月)～5月13日(月)(応募はハローワークまで)
◆問い合わせ先：ポリテクセンター岩手・遠野実習場 ☎0198(63)1411

お知らせ

回収受け付け終了しました
メダルプロジェクト

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」は、メダル製作に必要な金属量を確保できる見通しとなったことから、メダルプロジェクトとしての小型家電回収の受付を3月で終了しました。今後も小型家電の回収を継続して行い、循環型社会づくりに役立てていきます。引き続き、市民の皆様のご協力をお願いいたします。
◆問い合わせ先：市役所まちづくり推進課生活環境係

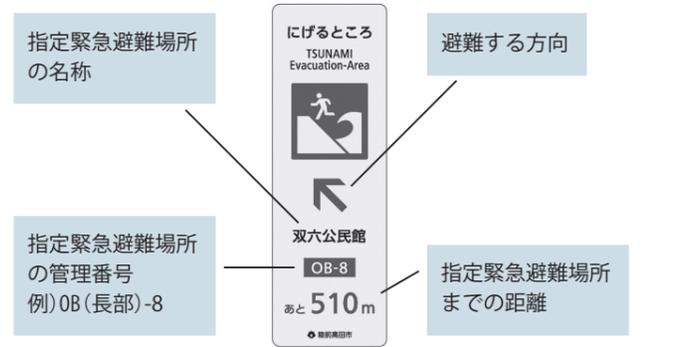
子どもの教育資金をサポート
国の教育ローン

国の教育ローンは、子どもの高校、大学への入学時や在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。子ども1人につき350万円以内を、固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済と

することができません。
◆返済期間：15年以内
◆返済方法：毎月元均等返済(ボーナス時増額返済可能)
◆保証：(公財)教育資金融資保証基金
◆問い合わせ先：教育ローンコールセンター ☎(0570)008656
借金でお悩みの人は
多重債務相談窓口・出前講座
【多重債務無料相談窓口】自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え悩んでいる人からの相談に無料で応じています。秘密は厳守します。
◆受付時間：(月)～(金)、午前8時半～午後4時半
◆相談専用電話：☎019(622)1637
【出前講座】地域のコミュニティ活動や各種団体の集まりなどで、金融犯罪被害に巻き込まれないための出前講座を無料で行っています。
◆問い合わせ先：東北財務局盛岡財務事務所 ☎019(625)3353

津波緊急避難場所を確認
長部地区に
避難誘導標識を設置

市では、津波の指定緊急避難場所を周知し、災害発生時に円滑に避難できるように、長部地区において、標識を電柱などに設置しました。(下矢作・竹駒・米崎・小友・広田地区には設置済み)
◆問い合わせ先：市役所防災課(内線602)



新エネルギー設備導入促進事業

太陽光発電システムや薪ストーブなどの設置に助成

区分	助成対象	助成額
太陽光発電システム	次のいずれにも該当するもの ①市内の住宅(店舗、事務所などと兼用する住宅を含む) ②太陽電池の最大出力が10kw未満のもの ③未使用のもの	1kw当たり3万円で、上限10万円
ペレットストーブ	未使用のもの	設置に要した経費の2分の1で、上限10万円
薪ストーブ	次のいずれにも該当するもの ①二次燃焼機能があるもの ②未使用のもの	1kw当たり3万円で、上限10万円
その他の再生可能エネルギー利用発電システム	風力、水力などを利用し、未使用のもの	1kw当たり3万円で、上限10万円

市は、新エネルギー設備の導入を促進するため、電灯契約している住宅の太陽光発電システムやペレットストーブ、薪ストーブなどの設置費用の一部を助成します。
◆対象者…市税の滞納がなく、次のいずれにも該当する人
①市内に住所を有するか転入予定、または、市内に事業所を開設しているか開設予定
②市内に新エネルギー設備を設置予定、または過去5年以内に設置
◆助成内容…左の表のとおり
◆問い合わせ先…市役所まちづくり推進課生活環境係

※助成額は陸前高田地域商品券での助成となります

31年度も継続して実施します

ふるさとタクシー助成事業

市は、高齢者や重度の身体障がいなどで、移動が困難な人に、タクシー料金の一部を助成します。
◆助成対象・内容…右の表のとおり
◆申請方法…①30年度以前に申請した人は、自宅にタクシー助成券を郵送②31年度中に75歳となる対象の人には、申請書とタクシー助成券を郵送③免許証の返納などで新たに対象となる人は、5月7日以降に市役所窓口で手続きができます。 ※郵送での受け付けも可能です。
◆タクシー助成券送付時期…31年5月(予定)
◆申し込み・問い合わせ先…市役所保健福祉課福祉係

ふるさとタクシー助成事業の対象・交付内容

対象者	交付枚数	助成額
矢作町(生出、二又、雪沢)、横田町、広田町に住んでいる75歳以上の人で、免許証を持っていない人や免許証返納者、右欄の手帳所持者	1月あたり6枚	タクシー助成券1枚につき500円(申請のあった月から当該年度分をまとめて交付、既に申請している人は12カ月分)
左欄の地域以外に住んでいる、身体(1・2級)療育(A)精神障害者保健福祉(1級)手帳所持者	1月あたり4枚	

※1回の乗車で使用できる枚数に制限はありません

～食生活改善推進員～ わかめとカニかまの茶わん蒸し



(1人分)
エネルギー 52kcal
食塩相当量 1.7g[※]

わかめで食物繊維を補おう！

わかめは海の栄養を体全体で吸収して育つので、さまざまなミネラルが含まれています。また、わかめには水溶性食物繊維が多く含まれており、現代の食生活で不足がちな食物繊維を補うことができます。

このレシピは、手間がかかる茶わん蒸しが簡単にきれいに作れます。旬のわかめを使って作ってみましょう！

◆問い合わせ先…市役所保健福祉課保健係

- ### 材 料(4人分)
- 生わかめ(塩蔵)……………20g[※]
 - カニかまぼこ……………4本
 - 卵……………2個
 - だし汁……………2カップ
 - 調味料
- | | |
|-----------|---------|
| しょうゆ…………… | 小さじ1 |
| 酒…………… | 小さじ1 |
| 塩…………… | 小さじ1/2強 |

- ### 作り方
- ① だし汁は冷ましておく。
 - ② わかめは水で戻し、2、3度水で洗う。食べやすい長さに切り水気を切っておく。カニかまぼこは手でほぐしておく。
 - ③ ボウルに卵を割り入れ、よく溶きほぐす。①の冷めただし汁に調味料を加えザルでこす。
 - ④ 器に②を入れ、③を静かに流し入れ、アルミホイルなどでふたをする。
 - ⑤ 蒸気の上上がった蒸し器に入れ、ふたを少しずらして、強火で2分、弱火で10分ほど蒸す。
- ※お好みで、出来あがりに、なるとや水菜・三つ葉を飾ると彩りが美しくなります。



ハロー シンガポール タンの Hello! SINGAPORE

～⑥マーライオン～

市の国際交流員のタン・ジャオウェイさんが、出身国シンガポールの様々な情報を紹介します。

シンガポールの伝説では、昔、マレーシアの王族が海を渡って新しい島(現在のシンガポール)に着いたとき、ライオンが現れ、この土地を統治することを許可したとされています。また、シンガポールの浜辺にはかつて「海の町」と呼ばれた都市が栄えていました。この2つの要素、「ライオン」と「海=魚」を組み合わせ

て生まれたのが、頭がライオン、胴体が魚の「マーライオン」です。

シンガポール建国の歴史がギュッと込められたマーライオン。

現在、政府公認の像が7体あります。

写真は、国立マーライオン公園にあるマーライオン像です。



2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてシンガポールを応援します